

# 放熱設備(サウナストーブ)の種類

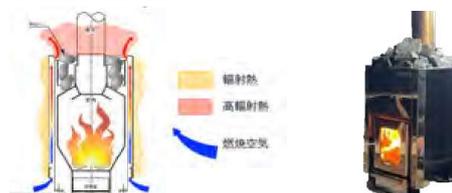
## ① 輻射式(薪ストーブ)

炉のケーシング(枠)本体表面から直接放出される輻射熱により室を温める方式。一部側面や天板部に石を設置するタイプもこの方式に含まれる。



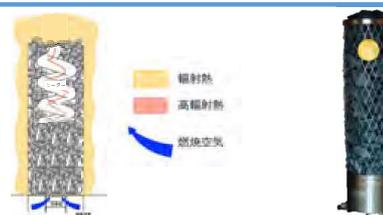
## ② 対流式(薪ストーブ)

炉の側面を取り囲むように遮熱効果のあるヒートシールドを備えた構造を対流式とする。側面への熱影響を抑え空気層の対流により上部への熱流を促進しロウリュウ時の熱波を循環しやすくする効果が高い。



## ③ 蓄熱輻射式(電気ストーブ)

主にヒーターから出た熱により温められた石の外表面から、全方位に輻射して室を温める方式。ヒーター等の周り全てを石で囲うタイプを蓄熱輻射の特徴とする。



## ④ 輻射対流式(電気ストーブ)

側面を取り囲むように遮熱効果のあるヒートシールドを備えた構造(対流式)。側面への熱影響を抑え空気層の対流により上部への熱流を促進する。



(総務省消防庁資料から抜粋)